



2024年5月14日

各位

会社名 イチカワ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 矢崎 孝信
 (コード番号 3513 東証スタンダード)
 問合せ先 執行役員総務部長 山崎 敦
 (TEL. 03-3816-1111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2023年10月30日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 連結業績予想数値の修正

2024年3月期通期(2023年4月1日～2024年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	13,300	700	1,000	600	134円10銭
今回修正予想(B)	13,600	1,100	1,160	740	165円40銭
増減額(B-A)	300	400	160	140	—
増減率(%)	2.3	57.1	16.0	23.3	—
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	13,344	800	1,044	833	182円06銭

2. 修正の理由

当社グループの主要取引先であります紙パルプ業界の動向は、国内につきましては、新聞用紙及び印刷情報用紙の需要は、紙のデジタル化が引き続き進んでいることで新型コロナウイルス禍以前の水準までは回復に至らず、加えて、板紙及び衛生用紙等の需要にも減少傾向が見られ、厳しい状況が続いております。一方、海外につきましては、早くから市場規模の大きな主要地域に進出し、グローバルな販売体制による積極的な拡販活動展開により、シェア拡大を目指しております。海外市場は、アジア地域において通販市場の拡大に伴う板紙及び衛生用紙の需要があるものの、新聞用紙及び印刷情報用紙は国内と同様に需要の減少傾向が続くと見込まれ、厳しい状況が継続しております。

当期の業績につきましては、国内紙需要の減少や海外大手顧客の生産集約に伴う販売製品の需要の減少により抄紙用フェルト販売数量は減少しましたが、収益性重視の販売への取り組みに注力したこと及び海外抄紙用ベルト販売数量の増加に加え、為替相場が想定以上に円安傾向で推移したことの影響により、連結売上高及び全段階の利益において前回発表予想値を上回る見込みとなりました。

以上によりまして、当連結会計年度の業績予想値を修正するものであります。

※ 上記予想は、本資料の発表日現在における将来の経営環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値とは異なる場合があります。

以上